

2025年12月16日

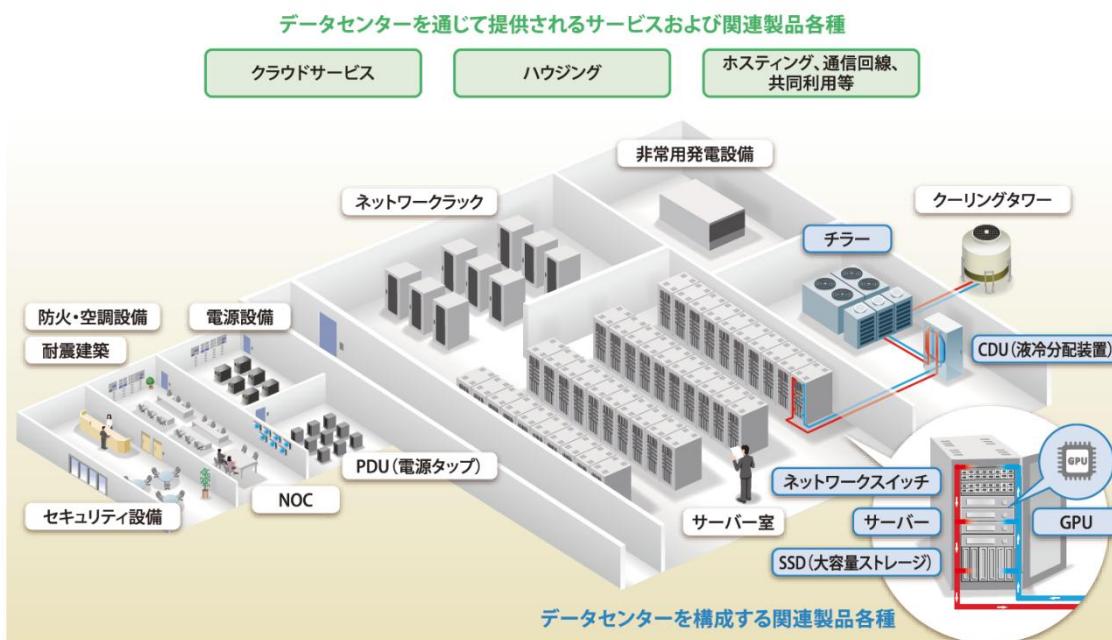
報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

## データセンターサービスの市場見通しを発表

- 2030年におけるデータセンターサービス世界市場は1兆7,200億ドルで、2025年比で2倍超の市場規模となる見通し
- 2030年におけるデータセンター関連製品市場は1兆6,907億ドルで、2025年比で約2.5倍となる成長を予測

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 漆間 啓 三菱電機株式会社 代表執行役 執行役社長 CEO）は、本日、データセンターの国内外の動向をまとめ、データセンターサービスおよび関連製品の市場見通しを発表しました。本調査は、主要国政府の政策や海外先進企業の動向など公知情報の分析と、国内外先進企業へのヒアリングをもとに需要を推計したものです。



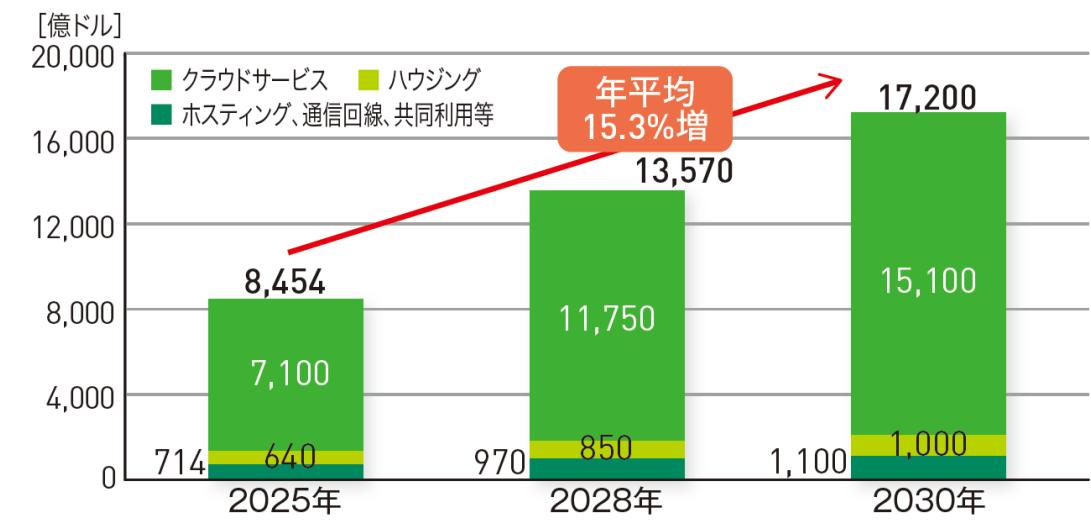
2030年におけるデータセンターサービス世界市場は1兆7,200億ドルと見通しました(\*1)。特にSaaSやIaaS、PaaSなどのクラウドサービスが大きく伸長する見通しです。生成AIの普及の他、クラウドサービスを中心としたサービス利用の加速、動画配信やゲームなどデジタルコンテンツ需要の拡大、AI学習・推論に対応するGPUサーバーや高速ネットワークの需要拡大が複合的に作用して、世界中のデータセンター投資を強力に後押しします。日本のデータセンターサービス市場も、産業のデジタル化やAI活用の広がりにより、2030年に5兆6,540億円へと成長する見通しで、堅調に推移していく見込みです (\*2)。

データセンターサービス市場の伸長に伴い、関連製品の市場も成長します。2030年データセンター関連製品の世界市場は1兆6,907億ドルに成長すると予測しました(\*3)。これはデータセンターサービス市場を上回る大きな伸びで、2025年比で約2.5倍の市場拡大となる見通しです。インフラの高度化に向けた投資によって、GPUやCDU、サーバー、ネットワークスイッチ、SSDといった主要コンポーネントが市場をけん引します。

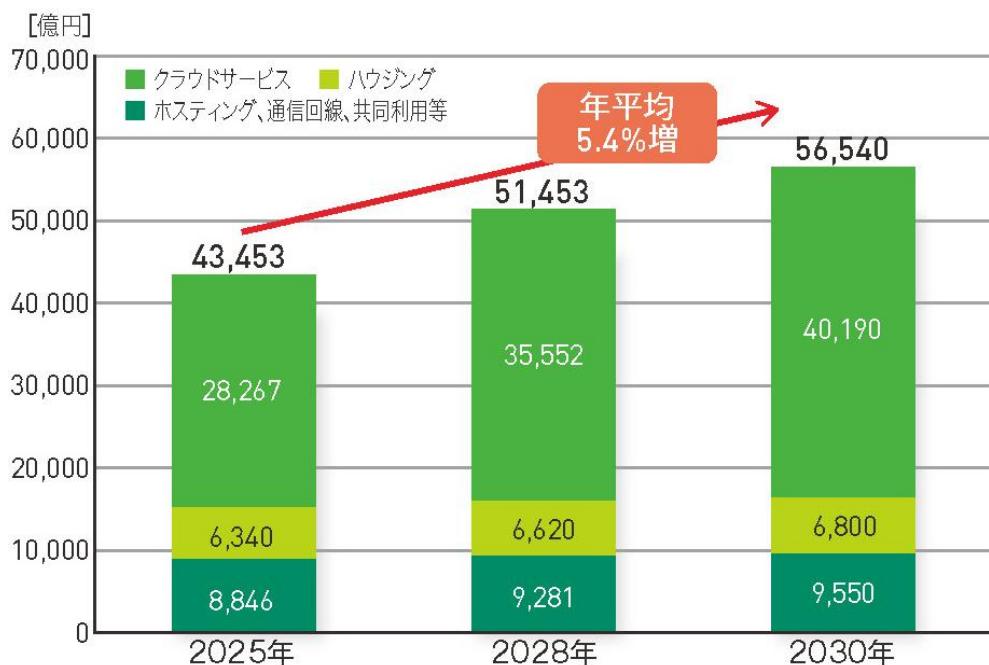
一方で、データセンターの高度化に伴い、電力消費の増大や発熱への対応、冷却効率の向上といった課題が顕在化しています。加えて、電力需要の拡大や脱炭素化への対応など、複合的な社会課題の解決も強く求められています。データセンターは、行政、産業、さらには国民生活のすべてを支える「基盤インフラ」にほかなりません。JEITAは、半導体や電子部品、サーバーといったハードウェアのみならず、ソフトウェアをはじめとする各種サービスまでを網羅するデジタル産業の業界団体として、政策提言等を通じて产学研官の連携・協業を一層加速させ、安心・安全な社会の実現を支えてまいります。

今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

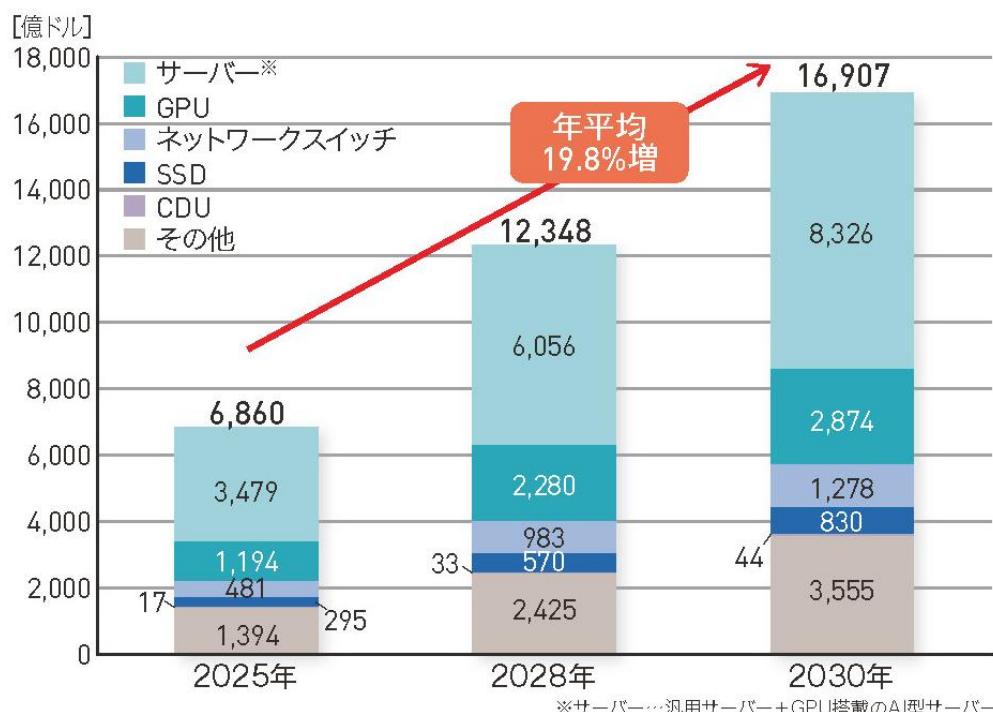
#### \*1 データセンターサービス市場見通し（世界）



## \*2 データセンターサービス市場見通し（日本）



## \*3 データセンター関連製品市場見通し（世界）



※平均為替レートは 2025 年 : 148.8 円/ドル、以降は 2025 年と同一とみなしています。

※本発表は JEITA が発行した『注目分野に関する動向調査 2025』(2025 年 12 月発行)にその詳細が報告されています。併せてご覧ください。

『注目分野に関する動向調査 2025』

[発行] 2025 年 12 月

[編集] 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

総合政策部会／調査統計委員会／注目分野 TF

[価格] 3,300 円(税込)

--